

駐車場の利用実態調査結果の概要

1. 背景

駐車実態の把握や駐車場施策の検証は、道央都市圏パーソントリップ調査の実施にあわせて行っており、前回は、平成7年度に駐車実態調査を実施した。

平成18年度に、第4回道央都市圏パーソントリップ調査を実施したことから、引き続き、駐車実態調査を行い、今後の方向性や具体的な施策を検討するものである。

2. 調査の目的

① 駐車場供給と駐車需要の現状把握

「既存駐車場の箇所数や収容台数」「1時間ごとの駐車台数」などの調査を実施し、前回の調査結果や建物の状況などと合わせた分析を行い、駐車の実態を把握する。

② 附置義務の検証

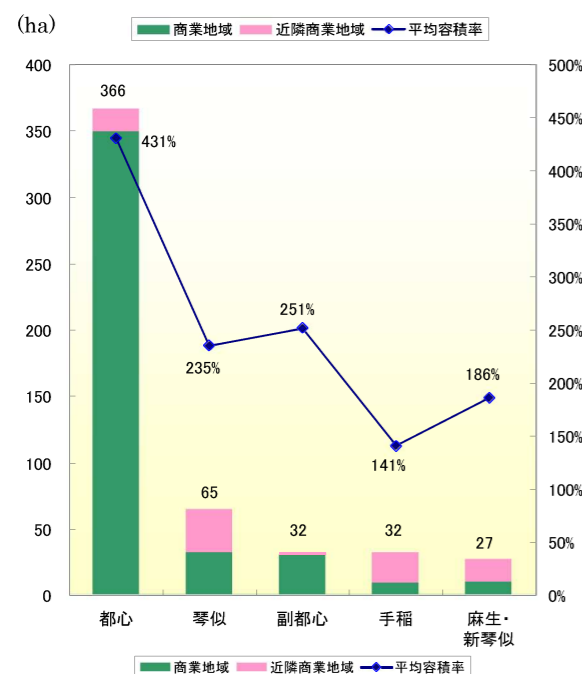
現在、駐車場の供給は、「駐車目的の地である建物に駐車場を確保してもらう」という考え方にに基づき、新築する建物などに駐車場附置を義務付ける「附置義務」を施策の柱として進めていることから、この取り組みを検証する。

3. 調査の概要

① 調査地区

商業施設や事務所が集積している地区では、**駐車需要が多い**ことから、これらの施設が立地可能な用途地域（商業・近隣商業地域）の面積が大きく、土地の高度利用状況を表す平均容積率が高い、「**都心**」・「**副都心（新札幌）**」・「**琴似**」の3地区で調査を実施した。

【図1】「商業・近隣商業地域の面積」（上位5地区）と「平均容積率」（H19都市計画基礎調査）



【表1】調査地区内の商業・近隣商業地域の土地利用状況（H19都市計画基礎調査）

	都心	副都心	琴似
平均容積率	約431%	約251%	約235%
1棟当たり平均敷地面積	約691㎡	約2,942㎡	約748㎡
平均建ぺい率	約60%	約57%	約47%
延床面積のうち現在の附置義務対象となる割合	約89%	約94%	約80%

② 調査日時

平成22年11月7日（日） 7:00～21:00（天気：晴れ）

平成22年11月9日（火） 7:00～21:00（天気：雨）

③ 調査内容

「1時間ごとの駐車場利用台数、路上駐車台数、駐車場への入庫待ち台数」

- ・ 建物用途などに着目してサンプル抽出した街区に関する駐車場。

【表2】利用台数調査を行う駐車場

	調査箇所			
	平日		休日	
	箇所数	収容台数	箇所数	収容台数
都心地区	193	14,073	175	13,475
副都心地区	16	2,425	15	2,403
琴似地区	14	1,181	14	1,181
総計	223	17,679	204	17,059

- ・ 建物用途などに着目してサンプル抽出した街区内の全ての道路。

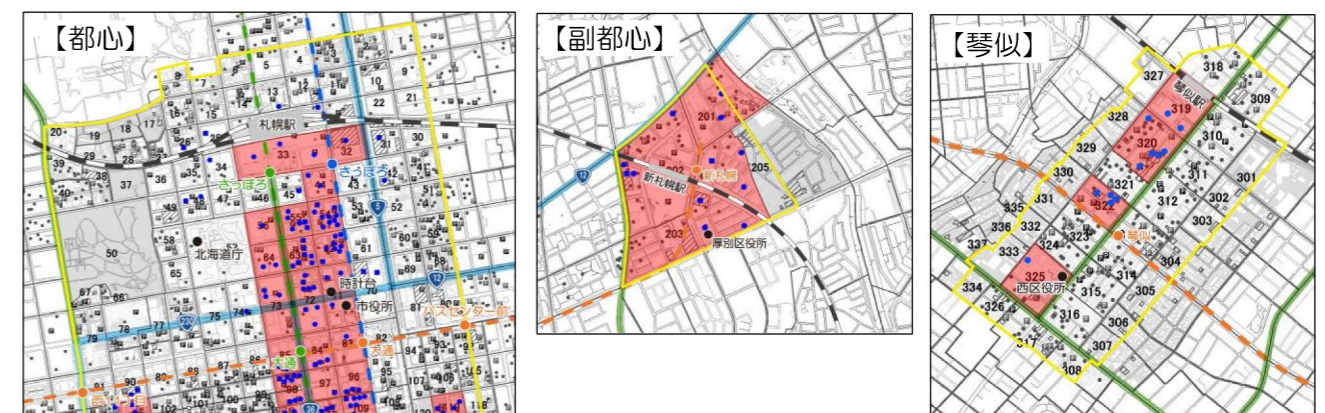
都心地区 — 約21.5km / 副都心地区 — 約9.0km / 琴似地区 — 約5.1km 合計約35.6km

「駐車場利用者の目的地」

- ・ 利用台数調査を実施する駐車場の中からサンプル抽出した時間貸し・月極駐車場。

都心地区 — 12箇所 / 副都心地区 — 2箇所 / 琴似地区 — 3箇所 合計17箇所

【図2】調査箇所



附置義務：附置義務条例に基づいて設置
附置義務以外：上記以外のもの

時間貸し：空きがあれば誰でも利用できる
月極：事前に契約した人のみ利用できる
専用：施設利用者など特定の人のみ利用できる

平面：地表面で平面的に利用されているもの
立体：平面駐車場以外のもの